

笑大顯輪轉

運動能力低下と肥満の増加

現代人の運動不足による体力の低下や健康状態の悪化が叫ばれています。文部科学省の「体力・運動能力調査」や厚生労働省の「国民健康・栄養調査」の結果からも、運動能力の低下や肥満者の増加が指摘され、成人病や糖尿病に代表される生活習慣病も問題視されています。

した、スポーツに親しむ環境づくりを目指す、住民主体の地域コミュニティのこと。住民が出し合ったアイデアに基づいて企画・運営されるため、地域ごとに特色があり、実践されるメニューやメンバーの構成などもさまざまです。指導者、参加者、事務局など、住民一人一人が、それぞれの立場でクラブに関わり、支えます。

総合型地域スポーツクラブが目指すもの
現在全国各地で設立が進む、住民主体、
地域に密着したスポーツクラブのこと
本町では24年4月の本格スタートを目指し
NPO法人かわね来風らいふうが準備を進めています
なかなか体を動かす機会が…となげいている人必見
「健康と笑顔をつくる」現場に迫ります

◆指導員のアドバイスを受けながらスポーツ吹矢を楽しむ参加者。1月29日に開かれたかわねライフスポーツクラブ設立プレ大会では、大勢の参加者が、それぞれ興味を持つスポーツを楽しんだ。写真はスポーツ吹矢。

いでも、いざやつてみよ」と思ふと、なかなかその機会が見つからないのも事実。最初の一歩を踏み出せない人は、案外たくさんいるのです。

それが総合型地域スポーツクラブの理想像です。

総合型地域スポーツクラブとは**1**誰でも**2**いつでも**3**いろいろな**4**世代を超えて**5**好みのレベルで**6**いつまでも—を趣旨と

それが総合型地域スポーツクラブの理想像です。

●総合型地域スポーツクラブの概念

総合型地域スポーツクラブは①住民による自主運営②多種多様な複合スポーツ③多世代、異なる技能レベルの人々が集まる④定期的・継続的に活動する一の柱のもと年間通じて活動していく。言うまでもなく運営するのも競技するのも、主役は「住民」だ。



24年4月、本町でもスタート

本町ではNPO法人「かわねライフソーラークラブ」を立ち上げました。2月25日に設立総会を開き、4月からの本格スタートを目指して準備を進めています。

クラブマネージャーの浜谷友子さんはクラブの現況について次のように語っています。

「かわねライフ・スポーツクラブは行政の投げかけに住民が応え

た形で立ち上がった地域密着型のクラブ。昨年1年間、試行期間としてさまざまなスポーツを実践してきました。1月29日には、掛川市や島田市のスポーツを





NPO法人かわね来風
ともこ
浜谷友子マネージャー

が弱い人ならスポーツ吹矢、若い女性ならヨガというように、個々の好みや状態によって、取り組むスポーツを選ぶことができます。そうやって、まずはみんなで一緒に体を動かす、充実感を味わう。そんな場所になつていけばうれしいですね。

いよいよ本格的に動き始めるかわねライフスポーツクラブ。この町にまた一つ、「笑顔づくり」の現場が生まれます。